

健康づくり計画 歯と口腔保健計画 食育推進計画に関する行政の取組

健康づくり計画に関する行政の取組

1 生活習慣の見直し～分野別・ライフステージ別の健康づくり～

(1) 栄養と食生活

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取組み	担当課
1 食生活を振り返り改善するための栄養指導、栄養相談を実施する。	給食の内容について献立検討会・物資選定委員会等で改善に取り組んだ。 適正な食習慣とバランスの良い食事がとれるよう、妊娠中の栄養についてマタニティ教室9回、離乳食教室24回、離乳食後期の栄養についてもぐもぐはつぱい教室を24回実施した。	継続して実施していく。 食生活を振り返り、食習慣を改善できるよう、マタニティ教室において食事アンケートを取り入れていく。	子育て支援課 学校給食センター課 健康推進課
2 栄養に関する正しい知識を普及する。	栄養士と連携し、媒体を使った話の場を設けたり、日々の給食の中で食育栄養パネルを使用し知識の普及に努めた。 幼児期家庭教育講座「栄養満点ふりかけと野菜たっぷりなお味噌汁を作りました」で、子どもの栄養バランスを考えたい料理の作り方講座を開催した。	継続して実施していく。 マタニティ教室の参加者が増えるよう、内容等を見直し、正しい知識を持つ人と朝食を取る人を増やしていく。	子育て支援課 学校給食センター課 生涯学習課
3 朝食を取る人が難しい人には簡単な朝食の取り方を提案する。	マタニティ教室栄養編を9回実施し、妊娠中及び産後における正しい食生活についての講話を実施した。子育て相談で管理栄養士による相談を実施した。	継続して実施していく。 マタニティ教室の参加者が増えるよう、内容等を見直し、正しい知識を持つ人と朝食を取る人を増やしていく。	健康推進課
4 妊娠期から母乳育児の指導、相談を実施する。	マタニティ教室、母子健康手帳発行時に母乳育児の利点を説明した。 乳児健康診査48回、子育て相談48回において助産師による個別相談を設け、必要な方に助産師の訪問を実施した。	継続して実施していく。 マタニティ教室、乳児健康診査、子育て相談において相談を継続して実施し、必要な方への母乳相談、訪問も継続して実施していく。	健康推進課
5 マタニティ教室や離乳食教室等で、望ましい食生活について啓発する。	妊娠中の栄養、離乳食や幼児食の進め方及び母親の食生活について啓発した。	マタニティ教室の参加者が増えるよう、内容等を見直し、正しい知識を持つ人と朝食を取る人を増やしていく。	健康推進課
6 食文化や食事の大切さ、マナーを家庭に啓発する。	栄養士による園児への指導を行い、また、給食だよりの献立表を生かして保護者に啓発をした。	継続して実施していく。	子育て支援課 学校給食センター課
7 食育の日（毎月19日）を啓発する。	食育の日は家庭で作った弁当を味わうこととし、食育の日として周知している。	継続して実施していく。	子育て支援課

妊娠期・乳幼児期

取組内容		令和元年度の取組状況		今後の取り組み		担当課	
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	8	給食で、伝承行事食として、行事に合わせた食事やおやつを提供する。	給食の献立を園の伝承行事に合わせて提供した。	継続して実施していく。	子育て支援課 学校給食センター課		
	9	保護者の給食への関心、興味を深めるため、給食試食会を実施する。	幼児の保護者に対し給食試食会を実施した。また、参加者に対してアンケートを実施し、給食内容の改善を行った。	継続して実施していく。	子育て支援課 学校給食センター課		
	10	給食だよりの充実を図る。	全国の郷土料理を大量調理できるように、アレンジをして給食に取り入れ、給食だよりに紹介した。	継続して実施していく。	学校給食センター課		
	11	食育を推進する。	栄養パネルを使用して、その日の給食の内容を確認し、保育園で野菜作りや行事等を実施した。また、各部署が連携して食育の啓発を推進した。	継続して実施していく。	子育て支援課		
	12	食生活改善推進員の活動を支援する。	保健事業（マタニティ教室、離乳食教室）協力への助言、活動場所の提供、保健事業協力の交付等することにより、食生活改善推進員の活動を支援した。	地域の健康づくりの食育活動を推進していくために、引き続き支援していく。	健康推進課		
	13	保育園を訪問して、幼児に対して食に関する指導を行う。	未実施	実施予定	学校給食センター課		
	14	保育園で栽培した作物を給食で使用する。	保育園で野菜作りを行い、給食に使用した。	継続して実施していく。	子育て支援課 学校給食センター課		
	15	食育を推進する。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画を作成した。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高めてもらうように働きかけをした。食育の日には毎月テーマをもった献立を実施し、指導やたよりなどで啓発した。また、各部署が連携して食育の啓発を推進した。	継続して実施していく。	学校教育課		
	16	小学生を対象とした農業体験等、栽培、収穫活動を実施する。	食生活改善推進員主催の親子料理教室の開催を支援した。	親子料理教室は、「親子がふれ合いながら一緒に料理ができる」と好評のため、引き続き支援していく。	健康推進課		
	17	地域の交流や食に対する意識を高めるため、料理教室を開催する。	一部の学校では学校田での米作り、畑でのさつまいも・大根の栽培活動を行っており、生活科の授業の環でミニトマト栽培も行っている。	継続して実施していく。	学校教育課		
			親子パン作り教室で、親子でパンの作り方を学ぶ講座を開催した。	継続して実施していく。	人権推進課		

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
児童期・思春期	17 地域の交流や食に対する意識を高めるため、料理教室を開催する。	パンづくり（公民館講座）で、パンの作り方を学ぶ講座を開催した。 パンとクリスマスケーキづくり（公民館講座）で、パンとクリスマスケーキの作り方を学ぶ講座を開催した。 親子パン作り（親子ふれあい講座）で、親子でパンの作り方を学ぶ講座を開催した。 親子お菓子作り（親子ふれあい講座）で、親子でクッキーの作り方を学ぶ講座を開催した。 クリスマスを食べよう（幼児期家庭教育講座）で、子どもとのふれあいを大切にクリスマス料理の調理を行う講座を開催した。 （幼児期家庭教育講座）で、親子巻きずしを作る講座を開催した。 子どもとのふれあいを大切にクリスマス料理の調理巻きずしを作る講座を開催した。	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課
		食生活改善推進員主催の親子料理教室の開催を支援した。	親子料理教室は、「親子がふれ合いながら一緒に料理ができる」と好評のため、引き続き支援していく。	健康推進課
青年期・壮年期	18 望ましい食習慣を身につけさせるよう、栄養教諭・学校栄養職員による指導を行う。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導を実施した。	継続して実施していく。	学校教育課
		19 食生活改善推進員の活動を支援する。	主催事業（親子料理教室）の助言、活動場所の提供、保健事業協力の交付等することにより、食生活改善推進員の活動を支援した。	地域の健康づくりの食育活動を推進していくために、引き続き支援していく。
青年期・壮年期	20 食に関する知識の普及や相談を実施する。	親子パン作り教室で、親子でパンの作り方を学ぶ講座を実施した。 パンづくり（公民館講座）で、パンの作り方を学ぶ講座を開催した。 パンとクリスマスケーキづくり（公民館講座）で、パンとクリスマスケーキの作り方を学ぶ講座を開催した。 ヘルスアップ教室及び栄養教室を各3回実施した。また、特定健診結果説明会・特定保健指導で栄養士による相談、指導を実施した。	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課
		21 掲示板、公共施設等身近な場所で見とまる啓発を行う。	保健センター等において、スマートフォンアプリプロジェクトの啓発を実施していく。 健康福祉まつりでは、あま市の野菜摂取量の現状を踏まえ、引き続き野菜摂取量増加を促す啓発を実施していく。	市の健康課題をふまえて、高血圧予防、脂質異常症予防、野菜摂取量増加に向けた栄養教室を実施していく。
青年期・壮年期	22 広報や市公式ウェブサイトで朝食を取るよう呼びかけるなど、食の大切さについて情報提供を行う。	広報で、バランスよく食べることの大切さについて啓発、情報発信を行った。	令和3年度に1日に2回以上、主食・副菜を3つそろえて食べている人の割合が70%以上になるように、継続して啓発や情報発信を実施していく。	健康推進課

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取組み	担当課
青年期・壮年期	23	食生活改善推進員の活動を支援する。	愛知県食生活改善推進協議会から依頼された事業（働く世代の料理教室）に対する助言・協力・活動場所の提供、保健事業協力金の交付することにより等、食生活改善推進員の活動を支援した。	健康推進課
	24	土日の料理教室を開催する。（特に男性向け）	夫婦が性別に捉われないことなく、家事を効率的に行う方法を学ぶために「夫婦円満講座」を開催し、男性が家庭内の諸活動に積極的に関わることへの理解を深めた。（台風6号により中止）	人権推進課
	25	民間企業等と連携して健康志向の手軽な食事を提案する。	未実施	健康推進課
	26	健診結果をわかりやすく説明し、食生活の改善を支援する。	特定健診結果説明会等で、栄養士と保健師による生活習慣病予防の保健指導を実施した。	健康推進課
	27	高齢者を対象とした栄養教室を実施する。	なかよし昼食会（食生活改善事業）で、全員で会話しながら、食事を作り、食べる講座を開催した。介護予防のための料理教室「しっかり食べよう！お惣菜活用術」を開催した。	人権推進課
	28	介護予防教室、栄養相談等で、バランスのとれた食事等の情報提供を行う。	はつらつクラブで、低栄養予防の講話を実施した。栄養士による個別の栄養相談を実施した。	健康推進課
高齢期	29	低栄養、生活機能低下の有無を判定する。	70歳以上の方を対象にシニアいきいきアンケートを実施した。	高齢福祉課
	30	食生活改善推進員・生き生き推進隊の活動を支援する。	保健事業協力への助言、研修の企画、活動の場を提供するなど、食生活改善推進員・生き生き推進隊の活動を支援した。	健康推進課
(2) 身体活動と運動				
取組内容		令和元年度の取組状況		担当課
妊娠期・乳幼児期	31	妊娠期より、運動の必要性を啓発する。	安心してに産できるようマタニティ教室で妊婦体操を実施した。	健康推進課
	32	親子で体を動かす事業を実施する。	親子体操教室（スポーツ教室）で、親子で体操に触れ合い体を動かした。 Let's MUSIC!親子で音楽あそび！（幼児期家庭教育講座）で、親子でリズム遊びを楽しんだり、楽器に触って音楽を奏でる講座を開催した。親子で顔ヨガ（幼児期家庭教育講座）で、子どもと一緒に顔ヨガを楽しむ講座を開催した。	スポーツ課 生涯学習課

	取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
妊娠期・乳幼児期	33 公園を利用しやすく管理し、活用に努める。	都市公園はシルババー人材センター、子ども会または業者に委託し、環境等の維持管理に努めた。	継続して実施していく。	都市計画課
	34 運動の大切さを啓発する。	児童遊園は地区町内会、子ども会または業者に委託し管理に努めた。	継続して実施していく。	子育て支援課
	35 親子で楽しめる遊び場や機会、散歩コースの情報を提供する。	健康推進課の事業（健康マイレージなど）をスポーツ課のイベントやあままつりで周知した。広報で運動の大切さについて啓発した。	健康への意識を高めるため継続して実施していく。	スポーツ課 健康推進課
	36 日頃から体を動かすことや適度な運動について情報提供する。	あま市子育てガイドブックの配布・あま市子育てカレンダーを作成した。こんにちは赤ちやん訪問で児童館や支援センターについて周知した。	継続して実施していく。	子育て支援課 健康推進課
児童期・思春期	37 遊びやレクリエーションの参加の機会を拡充する。	マタニティ教室において適度な運動について説明を行った。	遊びを通しての友達や家族との触れ合いや運動・感覚機能を養う大切さを継続して啓発する。	健康推進課
	38 地域でのラジオ体操の普及に協力する。	ニュースポーツ（あまスポーツクラブ事業）で、いろいろなスポーツを通じて仲間づくりを行ったり、豊かな子どもを育む講座を実施した。	継続して実施していく。	スポーツ課
	39 公園を利用しやすく管理し、活用に努める。	市民ラジオ体操のつどいで、正しいラジオ体操を普及した。	継続して実施していく。	スポーツ課
	40 放課後に校庭等を開放する。	都市公園はシルババー人材センター、子ども会または業者に委託し環境等の維持管理に努めた。児童遊園は地区町内会、子ども会または業者に委託し管理に努めた。	継続して実施していく。	子育て支援課
青年期・壮年期	41 体を動かす楽しさを伝え、運動習慣の定着を図る。	放課後に校庭等の開放をした。	継続して実施していく。	スポーツ課 学校教育課
	42 健康教室等をきっかけにした運動の仲間づくりの支援をする。	ふれあいスポーツ（子ども体育教室）や夏休みスポーツ教室（スポーツ教室）で、子どもたちが身体を動かす楽しさ・喜びを感じ運動の日常化を図った。親子体操教室（スポーツ教室）で、親子で触れ合い体を動かす講座を実施した。	継続して実施していく。	スポーツ課
		肩こり・腰痛ケアストレッチ教室・ボクシングエグザサイズ教室（スポーツ教室）で、各種スポーツの基本的な運動を実施した。市民走ろう・歩こう会で、気軽に楽しめるジョギング（2km・4km・10km）とウォーキング（2km・4km）を実施する。（1月26日開催予定）パランスポール・スポーツ吹き矢（あまスポーツクラブ事業）など、各種スポーツの教室を通じて健康づくりを行い、仲間との交流を深めた。	内容を精査しながら実施していく。	スポーツ課

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
健康教室等をきっかけにした運動の仲間づくりの支援をする。	「コロナ禍とカラダのメンテナンス」(公民館講座)で、バランスボールを使って有酸素運動を行う講座を開催した。ヨガをしよう、ノルディックウォークをしよう、セルフ整骨をしよう(社会教育講座)で健康づくりに関与する講座を開催した。	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課
42	健康教室等をつくりだす運動の仲間づくりの支援をする。	運動不足になりがちで世代に合った運動を見つかるための方法の1つとしてウォーキング事業と共にマップを推進していく。七宝地区と同様に美和・菟目寺地区でもビデオなどを利用し、理学療法士を中心に体操を始め、運動する機会を提供する。	健康推進課
43	若い世代が運動のきっかけづくりとなる参加しやすい教室(託児付教室)を実施する。	内容を精査しながら実施していく。	スポーツ課
44	若い世代が運動のきっかけづくりとなる参加しやすい教室(託児付教室)を実施する。	内容を精査しながら実施していく。	健康推進課
45	運動に関する事業等について、市民にわかりやすく、魅力的な情報を提供する。	継続して実施していく。	健康推進課
46	健診結果をわかりやすく説明し、運動の必要性を伝える。	運動を継続できるよう経過を追って支援する。	健康推進課
47	市の運動施設について、利用者増加を図る。	継続して実施していく。	スポーツ課
48	民間企業と協力して、運動の推進を図る。	全国建国健康保険協会愛知支部と共同で「健康宣言」Wチャレンジ事業を開始する。	健康推進課
49	運動グループ活動や生き生き推進隊の活動を支援する。	地域の健康づくりを推進していくために、継続して実施していく。	健康推進課
50	市民のニーズに合わせた運動について検討、実施する。	継続して実施していく。	スポーツ課
50	介護予防教室を積極的に啓発し、参加者の増加を図る。	継続して実施していく。	人権推進課

青年期・壮年期

高齢期

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
	<p>はつらつ健康教室～シニア運動教室～(スポーツ教室)で、自らの体力・健康状態を自覚すること、自発的な介護予防を促した。</p> <p>シニアエクササイズ(あまスポーツクラブ事業)で、身近な素材を利用して健康維持・介護予防を行った。</p> <p>認知症予防講座～コグニサイズで楽しく予防～(公民館講座)で、頭と体を同時にトレーニングして元気な体作りを行い認知症予防を図る講座を開催した。</p> <p>認知症予防講座～社交ダンスをしよう～(公民館講座)で、社交ダンスで脳と体を刺激して認知症予防を図る講座を開催した。認知症予防のための脳トレ講座～クラシックギターをしよう(公民館講座)で脳の活性化を促し、認知症の予防を図る講座を開催した。</p> <p>シルバークラージュに体を動かす講座授業を取り入れた。</p> <p>ウォーキング、ラジオ体操、健康体操、モリ森たいそう(筋力アップ体操)、中国健康体操(意身功・太極拳)を行い高齢者の健康づくりを支援した。</p> <p>認知症サポーター養成講座・認知症予防講座を実施し認知症の理解と予防を図った。</p> <p>保健センター、コミュニティセンター等で行う「はつらつクラブ」をチラシ・広報等で周知し、参加者の増加を図り、参加者は12月末で673人だった。</p> <p>老人クラブ会員に対し健康増進の出前講座を行うことで、健康寿命の延伸・介護予防を啓発した。</p> <p>70歳以上の方(要介護・要支援認定者は除く)を対象にシニアいきいきアンケートを実施した。</p> <p>サロンの交流会で、筋力向上と筋力維持を目的とした運動教室(筋力アップクラブ・はつらつクラブ)のチラシを配ることで、介護予防事業を充実した。</p> <p>介護予防事業でロコモティブシンドロームの知識を啓発した。</p> <p>サロン等出前講座「転ばぬ先のロコモ予防」を5回実施した。</p> <p>グラウンド、テニスコート(スポーツ施設)の整備に努めた。</p>	<p>内容を精査しながら実施していく。</p> <p>継続して実施していく。</p> <p>継続して実施していく。</p> <p>継続して実施していく。</p> <p>継続して実施していく。</p> <p>継続して実施していく。</p> <p>継続して実施していく。</p> <p>継続して実施していく。</p> <p>チラシの内容を精査し、継続して実施していく。</p> <p>健康寿命の延伸を図るために継続して実施していく。</p> <p>継続して実施していく。</p>	<p>スポーツ課</p> <p>生涯学習課</p> <p>子育て支援課</p> <p>高齢福祉課</p> <p>健康推進課</p> <p>健康推進課</p> <p>高齢福祉課</p> <p>健康推進課</p> <p>健康推進課</p> <p>スポーツ課</p>
50	<p>介護予防教室を積極的に啓発し、参加者の増加を図る。</p>		
51	<p>高齢者の集まるイベントを活用して介護予防の啓発を行う。</p>		
52	<p>介護予防事業を奨励し、要介護状態を予防する。</p>		
53	<p>ロコモティブシンドロームについての知識を普及・啓発する。</p>		
54	<p>地域の活動の場と、安全で取り組みやすい環境整備に努める。</p>		

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
高 齢 期	55 運動グループ活動や生き生き推進隊の活動を支援する。	保健事業協力への助言、研修の企画、活動の場を提供するなど、運動グループや生き生き推進隊の活動を支援した。	地域の健康づくりを推進していくためにも、継続して実施していく。	健康推進課
(3) こころの健康づくり				
取組内容				
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	56 望ましい生活習慣をつくるための知識を普及・啓発する。	マタニティ教室、乳幼児健康診査で家族とのコミュニケーションや十分な休養の必要性について啓発した。	啓発内容を精査し、継続して実施していく。	健康推進課
	57 ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	マタニティ教室で交流会を実施し、妊婦同士のコミュニケーションを図った。 乳幼児健康診査において子育て支援センター、子育てコンシェルジュについて周知した。	必要に応じ、子育て支援センター、子育てコンシェルジュへつなげ、子育て支援の情報提供をすともにも、子育てのストレスの解消を図る。	健康推進課
	58 妊娠期から不安や悩みを抱え込まないよう、切れ目のない相談体制を充実させる。	母子コーデイネーターにより母子手帳交付時にママの健やかプランを本人と共有し必要な妊婦に対し支援を行った。 保健師の面接と、アンケートによるスクリーニングで継続したフォローの必要とされた妊婦に、今後の訪問や電話等の時期について計画を立ててフォローした。その中で精神疾患既往ありの妊婦が34件6.7%であった。 母子手帳交付時、乳児健康診査において子育てコンシェルジュについて周知しつなげるよう支援した。	妊娠期の精神的不安、産後うつ子育てに関する知識や情報不足を防ぎ子育ての楽しみや喜びを感じられるよう、事業の中で継続して丁寧な面接・スクリーニング・コンシェルジュと定期的な検討会を継続して実施する。 コーデイネーターにより母が不安や悩みを抱え込まないよう、に妊娠期から電話・訪問での相談を行う。	健康推進課 子育て支援課
	59 子どもの健やかなころと体を育てるための知識を普及・啓発する。	乳幼児健康診査において、子どもの発達を支援するリーフレットを配布した。 8-9か月児のもぐもぐもぐ歯つびい教室で保育士による親子あそびを実施した。	保育士による遊びを取り入れることで親子のコミュニケーションが広がり、子どもの健やかなころの成長を促すため継続して実施する。	健康推進課
	60 母親が育児の不安や負担を抱え込まないよう、母親同士の交流を推進する。	子育てサロンを実施した。	継続して実施していく。	生涯学習課
	61 こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	発達について不安のある方を中心にマタニティ教室9回、ふたごちゃんみみつごちやん交流会を3回実施し、母親同士の交流の場を設けた。 母子手帳交付時に、精神疾患の既往の有無等を把握し、出産後の家庭訪問や面接の中で、相談機関を周知した。	妊娠期や育児の不安を保健師と共有し1人で抱え込まないよう、引き続き実施していく。	健康推進課
	62 こころの健康・休養について教育の充実を図る。	小学5年生保健「心の健康」、中学1年生保健「心と体のかわり」で学習。	継続して実施していく。	学校教育課
63 親子の絆を深める家庭環境づくりを支援する。	中学家庭科「家族と家庭と地域」、道徳「家族愛」で学習。	継続して実施していく。	学校教育課	

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取組み	担当課
64	質のよい睡眠や栄養を取るための、正しい知識の普及・啓発を図る。	中学2年保健「栄養・睡眠と健康」で学習。	継続して実施していく。	学校教育課
	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	4月に「あま市教育相談」のお知らせを配布した。 自殺対策関係課との部会において、各課で共有でき る「困ったときの相談窓口」を作成し、各課での利 用促進を図った。 自殺予防の街頭啓発を保健所、関係団体と実施し た。 成人式で900人に自殺予防に関するリーフレットを配 布した。 昨年度から開始したこころの体温計を市公式ウェブ サイトで実施している。アクセス数約10,000件	継続して実施していく。 継続して実施していく。 継続して実施していく。小中各校からSOSの出し方 についての教育の取組み状況について確認する。 養護教諭部会において情報交換予定。 今後も自殺予防週間、自殺対策強化月間に、働く世代や 学生をターゲットに通勤・通学時間帯に啓発を実施して いく。 市公式ウェブサイトで掲載によりアクセス数が予定より多 かったため、今後も継続していく。	学校教育課 健康教育課 健康推進課 健康推進課 人権推進課
65	こころの健康を保つための知識を普及・啓発する。	広報9月号で「正しい睡眠の必要性について」を掲載 した。	うつ予防に努め、今後も睡眠の必要性について周知して いく。	健康推進課
	健康づくりのための睡眠について普及・啓発する。	ヘルスアップ教室を開催し、運動を通してストレス を解消、リフレッシュするための支援を行った。	運動不足になりがちな世代に、体を動かすことによりリ フレッシュを図るきっかけを作り、自分なりのストレス 解消法を見つける手助けとして継続して実施していく。	健康推進課
66	不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制を充実さ せる。	こころの相談室で実施し、2名の相談を行った。	相談件数が少ないため、市公式ウェブサイトを通し 周知していく。	健康推進課
	生きがいや趣味を持つこと、スポーツをすることなど と様々なストレス解消法に関する情報提供を行う。	未実施	広報に掲載する。	健康推進課
67	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	駅周辺で、相談機関を周知する物品の配布を行っ た。広報で相談機関を周知した。リーフレットを成 人式で配布し、相談機関を周知したほか、自殺やう つ病に対しての正しい理解の促進を図った。 「困ったときの相談窓口」一覧を作成し、関係各課 窓口に設置した。	自殺予防事業として継続して実施。	健康推進課
	こころの健康を保つための知識を普及・啓発する。	高齢者総合相談窓口として実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
68	健康づくりのための睡眠について普及・啓発する	広報9月号で「正しい睡眠の必要性について」を掲載 した。	継続して実施していく。	健康推進課

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
高齢期	69	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	介護者のつづい、ふれあい(認知症)カフェを実施した。カフェの設置数の増加を推進し、今年度よりカフェ運営の補助金制度を実施している。	高齢福祉課
	70	閉じこもり予防、自殺予防事業を行う。	中国健康体操(意身功・太極拳)、お楽しみ会(脳トレなどのゲーム、お話し会)を実施した。	子育て支援課
高齢期	71	不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制を充実させる。	はつらつクラブ、筋力アップクラブ間を通して実施した。	健康推進課
	72	生きがいや趣味を持つこと、スポーツをすることなど様々なストレス解消法に関する情報提供を行う。	臨床心理士によるこころの相談室で実施した。今年度より精神科医による精神保健相談会を実施した。	健康推進課
	73	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	老人クラブ活動やシルバー人材センターでの活動を通じて高齢者に対する生きがいづくりの支援を行った。	高齢福祉課
	74	地域とのつながりが持てるよう支援する。	リーフレットを長寿を祝う会2,500人に配布し、保健センターや保健所の身近な相談機関を周知したほか、自殺やうつ病に対しての正しい理解の促進を図った。	健康推進課
	75	シルバークレージで生涯学習を行いながら仲間づくりの支援を行う。	相談者に対して介護予防教室、サロン等の情報提供を行った。老人クラブ活動の支援を実施した。	高齢福祉課
	76	一般介護予防事業で、各種講座を開催する。	健康相談、介護予防事業でコミュニケーションを図るとともに福祉事業などの紹介を行った。出前講座「こころの健康について」を老人会総会で実施(145人)	健康推進課
			継続して実施していく。	生涯学習課
			継続して実施していく。	生涯学習課
			継続して実施していく。	生涯学習課
			継続して実施していく。	生涯学習課
			ひきこもり予防として、地域のサロンの紹介や高齢者健康事業の周知、参加勧奨に努める。	健康推進課
			継続して実施していく。	生涯学習課
			継続して実施していく。	生涯学習課
			公式ウェブサイトを掲載により簡単にできるストレスチェックであり自分のストレス状況が簡易に確認できるため継続して掲載する。	人権推進課

(5) たばこ

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
妊娠期・乳幼児期	77	母子健康手帳交付時の喫煙状況を確認し、喫煙している妊婦とその家族に対し、個別に指導・支援する。	母子健康手帳交付時のアンケートより喫煙者への支援を実施した。母子健康手帳交付時の妊婦の喫煙率は平成30年度4.1%、令和元年度3.2%（12月末）	健康推進課
	78	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく啓発する。	マタニティ教室でたばこの害について説明した。	健康推進課
	79	家庭訪問、乳幼児健診等の機会にたばこの副流煙の影響について知識を普及する。	家庭訪問、乳幼児健診等の機会にリーフレットを配布し啓発に努めた。	健康推進課
	80	禁煙外来を周知する。	個別相談にて実施した。	健康推進課
	81	公共施設での分煙・禁煙を推進する。	「健康増進法の改正」により、7月から市内公共施設での敷地内禁煙を実施している。	健康推進課
	82	学校は、児童生徒とその保護者に対して禁煙教育を行う。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育（保健）「健康な生活と疾病の予防」で実施した。	学校教育課
	83	目にする機会が多い場所へポスターなどを掲示し、啓発する。	愛知県教育委員会から配布されたポスターを各学校へ配布する。	学校教育課
青年期・壮年期・高齢期	84	子どもに対し、たばこの害を周知する。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習。 中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習。	学校教育課
	85	禁煙成功者の体験談を広報に掲載する。	未実施	健康推進課
	86	世界禁煙デーに合わせて禁煙週間を周知し、推進する。	5月広報に掲載した。	健康推進課
	87	たばこの害と疾病との関係についての教育の実施及びポスターを掲示する。	成人式において、たばこについてのチラシを配布した。昨年度、中学生に対し実施した受動喫煙防止ポスターコンクール入賞作品を健康福祉まつりにおいて掲示した。	健康推進課

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
88 喫煙が及ぼす影響やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）について周知する。	肺がん検診でリーフレットを配布し周知した。あま市民病院まつりで一酸化炭素濃度測定やたばこが肺に及ぼす影響のモデルやターゲットモデルを展示し来場者600名に喫煙が及ぼす健康被害について啓発した。	肺がん検診受診者の喫煙者に対し問診時に継続してリーフレットを配布し影響について啓発していく。	健康推進課
89 禁煙希望者へ、禁煙治療ができる医療機関等の情報を提供する。	禁煙の相談時に愛知県作成のチラシを配布した。	市公式ウェブサイトで掲載や広報で禁煙の相談を行っていることを周知する。	健康推進課
90 たばこに関する講演会を実施する。	未実施	令和5年度を目的に講演会を実施していく。	健康推進課

(6) アルコール

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
91 母子健康手帳交付時の飲酒状況を確認し、飲酒している妊婦とその家族に対し、個別に支援する。	母子健康手帳交付時に実施した。母親の飲酒率0.56%	妊娠中の飲酒率0%をめざし母子手帳発行時に母子手帳、パンフレットをもとにアルコールの影響について説明する。	健康推進課
92 マタニティ教室等で飲酒が妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく周知する。	マタニティ教室一般編で周知した。	継続して実施していく。	健康推進課
93 未成年者に飲酒が及ぼす身体への影響について周知する。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習。	継続して実施していく。	学校教育課
94 適正飲酒量を周知する。	特定健診結果説明会や健康教育で実施した。1歳6か月健診で保護者に対して適正飲酒量を周知した。健康福祉まつりで235名にアルコールパッチテストや断酒会による個別相談を実施した。成人式において適正飲酒量のチラシを配布した。	継続して実施していく。	健康推進課
95 多量の飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響についての正しい知識の普及・啓発をする。	特定健診結果説明会で周知した。健康福祉まつりで235名アルコールパッチテストや断酒会による個別相談を実施した。	ストレスの発散が過度なアルコール摂取に向かないように心身に与える影響を中心に継続して周知していく。	健康推進課

(7) 健康管理

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
96 妊産婦・乳幼児健康診査の受診を勧奨する。	妊産婦・乳幼児健康診査受診券を活用して受診するよう勧奨をした。集団の乳幼児健診の未受診者には、家庭訪問や面接で状況を確認した。	マタニティ教室や赤ちゃん訪問で受診勧奨し、未受診者は100%把握する。受診状況を確認し、受診を中断している人には個別連絡をする。	健康推進課
97 健康診査、相談、訪問指導など母子保健事業の効果的実施と利用促進を図る。	マタニティ教室や赤ちゃん訪問、乳児健診、子育て相談で心身の発達の確認の必要性を周知し受診勧奨した。	継続して実施。未受診者には電話や訪問でフォローしていく。	健康推進課

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	98	定期予防接種の未接種者の解消を図る。	日本脳炎1期、2種混合、麻疹及び風しんの未接種者に勧奨ハガキを送付し接種勧奨した。	健康推進課
	99	かかりつけ医を持つよう啓発する。	乳幼児健診等がかかりつけ医を持つよう問診・集団指導で啓発した。	健康推進課
	100	妊娠期からの切れ目ない子育て支援を通して、健康管理を支援する。	各母子保健事業で子育てに関する不安やストレスを確認し、必要な場合は個別に子育てコンシェルジュ、子育て支援センターを紹介勧奨した。	健康推進課
	101	医療ネグレクト児について、関係機関と連携して対応する。	市内医療機関・あま児童発達相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応した。	子育て支援課 健康推進課 保険医療課
	102	自分の健康を自分で守ることができよう、適正体重を周知するなど、正しい知識を学ぶ機会を提供する。	小学校：肥満傾向の子について個別に対応している。 中学校：身体測定時にBMIをつかって適正体重を学ばせている。	学校教育課
	103	定期予防接種の未接種者の解消を図る。	日本脳炎、2種混合の未接種者には勧奨ハガキを送付した。	健康推進課
	104	医療ネグレクト児について、関係機関と連携して対応する。	市内医療機関・あま児童発達相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応した。	子育て支援課 学校教育課 健康推進課 保険医療課
	105	がん予防を含む、生活習慣病の健康教育を行う。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育(保健)「健康な生活と疾病の予防」で実施した。	学校教育課
	106	健康教育、イベント、広報等を通じて、各種健(検)診の目的・重要性等をさらに市民へ周知する。	がん検診ガイドを5月に各戸配布し、広報掲載することにより受診勧奨に努めた。 検診受診勧奨のチラシを作成し、街頭で啓発物品とともに配布した。 全国健康保険協会愛知支部と共同で協会員へ特定健診の個別通知時にがん検診の案内を送付した。 健康福祉まつりで、大腸がんについて周知した。 あま市民病院まつりで、がん検診啓発リーフレットを配布した。	健康推進課
	107	がん検診受診方法を、広報・ポスターなどを用いてわかりやすく周知し、受診の啓発をする。	がん検診ガイドを5月に各戸配布し、広報では受診勧奨に努めた。 成人式において子宮頸がん受診勧奨のチラシを配布した。 乳幼児健診において子宮頸がん受診勧奨のチラシを配布した。	健康推進課
108	個別通知を実施し、若い年齢層の受診者の増加を図る。	全てのがん検診対象者にごがん検診受診券を送付し、受診券を持参すれば直接、医療機関で受診できる環境を整えた。 若い世代については、クーポン券付きのがん検診受診券とがん検診手帳を送付した。	健康推進課	

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
109 早期発見・早期治療の重要性について、啓発する。	無料クーポン券発送時に早期発見、早期治療の重要性についてのリーフレットを同封した。新成人に子宮頸がん検診のチラシを配布した。	20歳からの受診勧奨を継続して行う。乳児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、がん検診ガイドと併せて啓発する。	健康推進課
110 望ましい生活習慣（栄養・運動）の実践を支援する。	栄養教諭・学校栄養職員が各学校へ出向き、生活習慣等についての指導をした。	継続して実施していく。	学校給食センター課
111 精密検査対象者への受診勧奨を強化する。	栄養相談・健康相談・健診結果説明会を実施した。各種教室（健康づくり教室、ヘルスアップ教室）で、一部ががん予防の講話を実施した。あまつつり・健康福祉まつりで適正体重の周知を図り体重管理をすることと生活習慣にもつながることを啓発した。	適正体重は最も病気になるににくい体重であることを啓発し、生活習慣の改善にもつながっていく。	健康推進課
112 あま市民病院における、人間ドックを新たに実施するなど検診部門の充実と、がんの治療・相談体制を強化する。	要精密検査者に検診結果とともに精密検査の案内を送付し、精密検査未受診者に対しては、検診の目的や受診の必要性を理解し受診につなげるよう、再通知や電話等で勧奨した。	継続して実施していく。	健康推進課
113 がんに関する講演会を実施する。	人間ドックは未実施	体制整備に向け検討していく。	あま市民病院
114 がん予防を含む生活習慣病の健康教育を行う。	あま市民病院まつりにおいて、ブースを設け生活習慣病の啓発（肺疾患予防・乳がん自己検診・食品に含まれる糖分の含有量等）を実施した。	あま市民病院と協賛してあま市民病院まつりにおいて生活習慣病の啓発を継続して実施していく。	あま市民病院 保険医療課 健康推進課
115 適正体重を周知する。	健康福祉まつりで適正体重を計算し、啓発のメモ用紙を配布し周知を図った。	継続して実施し、今後は健康相談時やマイレージ参加者にも機会をとらえて啓発していく。	健康推進課
116 生活習慣病予防のために20歳代、30歳代からの生活習慣改善に向けた情報提供、健康教育、健（検）診の勧奨等に一層取り組む。	特定健診結果説明会や健康教室で周知した。	ヘルスアップ教室にてがん検診の必要性をパンフレットを用いて勧奨していく。	健康推進課
117 職域との積極的な連携を図り、健康教育及び健（検）診受診への啓発を充実させる。	全国健康保険協会愛知支部と共同で協会員へ特定健診の個別通知時にかん検診の案内を送付した。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジに取り組み、職域への健康講座等で周知啓発を行う。	健康推進課
118 医科、歯科、薬剤など関係機関との連携を強化する。	医師・歯科医師・薬剤師の代表が出席する保健対策推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
119 特定健診検査やがん検診を受けやすい体制づくりに取り組む。	直接医療機関を受診できるよう受診券を個別通知した。集団健診において市公式ウェブサイトでの受付を実施した。各保健センターにおいて休日健診を実施した。	受診率や休日健診の状況を確認し精査して実施していく。	保険医療課 健康推進課

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
120 青年期・壮年期・高齢期 特定健康診査やがん検診の未受診者の把握に努め、受診勧奨を強化する。	特定健診において、今年度初めて対象となった40歳や、不定期受診者及び過去3年未受診者に対して、心理特性に応じた受診勧奨案内を個別送付した。	8月号広報で未受診勧奨の周知啓発を行う。	保険医療課
121 活き生き推進隊の活動を支援する。	乳・子宮がん検診クーポン対象の未受診者に再勧奨通知を実施した。	受診率が向上するように継続して実施していく。	健康推進課
122 お薬手帳の利用を勧奨する。	自殺予防啓発や適正体重の啓発で活き生き推進隊の活動の場等を作った。 国民健康保険加入者へ適正受診についてのチラシを配布、及び、窓口に適正受診についてのリーフレットを設置し、お薬手帳の活用を啓発した。また、重複服薬者に対して、訪問及び通知により、お薬手帳の活用について指導を実施した。	継続して活動の場の提供を支援する。 継続して実施していく。	健康推進課 保険医療課

2 重症化予防

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
123 有所見者への対策としては、重症化につながる高血圧症及び糖尿病についての、セミナーの開催や訪問による医療機関への受診勧奨を実施し、適切な治療につなげて、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の重症化予防を図る。	特定健診の結果、糖尿病に関する値(HbA1c)が有所見判定の方に糖尿病基礎教育セミナーを開催した。また、「糖尿病と腎機能に関する値」「血圧値」が受診勧奨レベルの方で、その後も医療機関受診が確認できない方へ、医療機関受診勧奨通知及び訪問指導を実施した。	継続して実施していく。	保険医療課
124 継続したがん検診の必要性について啓発して、ライフスタイルに合わせた受診しやすい体制づくりを進める。	全てのがん検診対象者に受診券を送付し、直接医療機関に受診できる体制を作った。	受診券をさらにわかりやすく検討していく。	健康推進課
125 要精密検査者には、医療受診の勧奨に努めて、早期発見につなげる。	要精密検査者に結果とともに精密検査の案内を送付し、精密検査未受診者に対しては、検診の目的や受診の必要性を理解し受診につながるよう、再通知や電話等で勧奨した。	継続して実施していく。	健康推進課

3 家族、世帯を踏まえた取組の推進

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
126 家族・地域での交流を図り健康づくりに関心をもつ。	保育園で園児に対し、たばこの害についての教室(防煙教室)を行う事で、家族が受動喫煙について話をきまっかけを作った。 各種運動教室・栄養教室を開催し、参加者間の交流の場を設けた。	教室等の内容を精査し、継続して実施していく。	健康推進課

歯と口腔保健計画に関する行政の取り組み

1 歯と口腔の健康づくり

(1) ライフステージ別の歯と口腔の健康づくり

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	1 歯と口腔の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報での周知を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
	2 母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査を啓発する。	母子健康手帳交付時に歯科健診を受けることの重要性を伝え、受診の日程一覧表を配布した。	一覧表の内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	3 乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さについて周知する。	乳児健康診査、子育て相談、もぐもぐ歯っぴい教室で722人にリーフレットを配布した。	リーフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	4 おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	もぐもぐ歯っぴい教室、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査でリーフレット等を配布した。	紙芝居、写真付きリーフレット等を使用した分かりやすい内容で実施していく。	健康推進課
	5 歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	各健康診査（マタニティ教室、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査）で啓発した。公立保育園の年少児と保護者469人に対して、フロスの実習を行った。	使用効果をさらに啓発する。	健康推進課
	6 かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	マタニティ教室、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査時の歯科健康教育で啓発した。	0歳児歯科健康診査でもかかりつけ歯科医を持つことの重要性を啓発していく。	健康推進課
	7 歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	各健診で個別で声かけを実施した。69人に対し、う蝕、歯周病の治療勧奨を行った。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	健康推進課
	8 マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響をわかりやすく普及・啓発する。	母子手帳交付時、マタニティ教室、乳児健康診査で実施した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	9 口腔習癖の弊害を啓発する。	各健診で個別で口腔習癖を持っている人に声かけを実施した。	口腔習癖が改善されたか、次回の健康診査の際に確認していく。	健康推進課
	10 成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	マタニティ教室、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室で、身体的発達と、舌、口唇の動きの関連や、口腔の発達に合った食形態についての指導を実施した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	11 80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	マタニティ教室で8020運動のパンフレットを79人に配布した。	8020達成のための生活習慣の改善方法を、パンフレットを使用し説明していく。	健康推進課

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
12	保育園児対象の歯科健診を実施する。	保育園にて、年2回の歯科健診を全園児対象で実施し、その結果を保護者に報告し必要な人には治療勸奨を実施した。	治療勸奨後の受診状況を確認していく。	子育て支援課
13	歯と口の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	6月の歯と口の衛生週間に合わせ、かみごたえのある食材を使用し献立を提供した。また、「かみかみの日」とし、毎月1品かみごたえのある食材を使用し、説明した給食だよりを配布した。 虫歯予防に関する資料を作成し、給食時に放送した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
14	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
15	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
16	歯と口腔の大切さについて、周知する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
17	歯みがき指導を推進する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室を開催した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
18	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	福祉健康まつりでフロスを啓発物品として156人に配布した。 希望のあった小中学校での歯みがき指導で実施した。	使用効果と具体的な使用方法について継続して実施していく。	健康推進課
19	むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室、学校保健委員会の際に実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
20	歯科健診時に必要な人に対し治療勸奨を行う。	歯科健診時に必要な人に対し治療勸奨を行った。	治療勸奨後の受診状況を確認していく。	学校教育課
21	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
22	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	希望のあった歯みがき教室、学校保健委員会の際に周知した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
23	歯と口の衛生週間に合わせ、口腔管理について啓発する。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報での周知を行った。	ポスターの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
24	口腔疾患と全身疾患の関係性についての知識を普及する。	歯と口腔の健診の際に、口腔疾患と全身疾患の関係性が掲載されたパンフレットを939人に配布した。	パンフレットの内容を精査して、対象者に合ったパンフレットを用意する。	健康推進課

児童期・思春期

青年期・壮年期・高齢期

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
25	医科、歯科、薬剤等関係機関との連携を強化する。	医師、歯科医師、薬剤師代表を含む委員で構成される歯と口腔保健推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を図った。	継続して実施していく。	健康推進課
26	口腔機能の向上を啓発する。	歯と口腔の健診の際に、パンフレットの配布を81人に行った。 市公式ウェブサイトに健口体操の周知を行った。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
27	歯と口腔の健診の受診勧奨をする。	30・35歳健診の勧奨ハガキに歯と口腔の健診の案内も掲載した。 76歳を対象に受診勧奨ハガキを1,202人に送付した。全体の受診率は1.6%。	パンフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
28	喫煙が及ぼす歯周病への健康影響について周知する。(青年期・壮年期)	歯と口腔の健診の際に、喫煙者154人に対しパンフレットの配布を行った。	パンフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
29	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020(ハチマルニイマル)運動」を推進する。	健康福祉まつりで9020・8020表彰を実施した。9020表彰者は3人、8020表彰者は20人。	100歳以上の訪問を実施し、10020表彰につなげる。	健康推進課
30	介護予防(口腔機能の向上)を啓発する。(高齢期)	介護予防教室で実施した。 長寿を祝う会にて歯科医師の講話を行った。	継続して実施していく。	高齢福祉課
31	要介護者の口腔機能向上のため、往診治療や往診歯科口腔指導のサービスについて啓発する。(高齢期)	シルバーカレッジに口腔ケアの講座授業を取り入れた。 民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓発文書を10,940人に配布した。	内容を精査して継続して実施していく。	生涯学習課
32	お薬手帳の利用を勧奨する。(高齢期)	相談対応時に情報提供を行った。 介護保険サービス事業者連絡会において、歯科医師の講義と歯科医師及び介護関係職員との交流を行った。 窓口に来所された高齢者に対し、お薬手帳の利用を勧奨している。	啓発文書の内容を精査して継続して実施していく。(約11,000人) 内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
33	歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や薄味の食事を意識してゆつくりかむことで、味覚の発達に関する支援を実施する。	離乳食教室、もぐもぐ歯つびい教室において、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行った。 子育て相談、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児歯科健康診査の個別相談において、個々の口腔の状況に合った食形態、口腔機能を促す遊びの紹介を行った。	生涯学習課の協力を得て、シルバーカレッジ等でお薬手帳の利用啓発を行う。	健康推進課

(2) 食育との関わり

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
妊 乳 児 期	歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や薄味の食事を意識してゆつくりかむことで、味覚の発達に関する支援を実施する。	離乳食教室、もぐもぐ歯つびい教室において、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行った。 子育て相談、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児歯科健康診査の個別相談において、個々の口腔の状況に合った食形態、口腔機能を促す遊びの紹介を行った。	医師、歯科医師、保健師、管理栄養士、看護師、歯科衛生士等との意見の統一を図りながら、継続して実施していく。	健康推進課

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
青年期・壮年期	34 食べ方による生活習慣病対策に関わる支援を実施する。	特定保健指導、栄養相談の際に生活習慣チェック表を使用し、よくかんでゆつくり食べるようにしているか確認をし、必要に応じて適切な食べ方を指導した。	ゆつくり食べることが、生活習慣病対策につながることを広報に掲載して広く啓発していく。	健康推進課
高齢期	35 口腔機能の維持や、機能減退による誤嚥・窒息の防止を始めとする安全性に配慮した支援を実施する。	はつらつクラブにおいて、口腔機能の維持向上、安全な食形態について77人に指導した。75歳以上の歯と口腔の健診において、81人に口腔機能に関するリーフレットを配布した。	内容を精査するとともに、200人への指導を目指す。	健康推進課

食育推進計画に関する行政の取り組み

1 食育推進の施策展開

(1) 食を通じて健康な体をつくる

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
1	バランスのとれた規則正しい食生活の実践を啓発する。	各種栄養教室で、講話と調理実習を実施した。また、広報で正しい食生活についての啓発を行った。	引き続き、母子や成人、介護の栄養教室にて、バランスのとれた規則正しい食生活を啓発する。	健康推進課
2	食に関する指導を充実させ、食育を推進する。	関係機関と連携を図りながら、日々の給食や行事等で園児、保護者へ食育の推進を行った。	継続して実施していく。	子育て支援課
3	給食だよりの充実を図る。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導を実施した。	継続して実施していく。	学校教育課
4	食育に関する地域の社会資源との連携を推進する。	各家庭に給食だよりの献立表を配布した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
5	食育の日（毎月19日）を啓発する。	J A海部東と協同し、あま市の農産物をより多く給食で使用できるように連携を図った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
6	食の安全・安心に関する知識を啓発・普及する。	食育の日は家庭で作った弁当を味わうこととし、食育の日として周知した。	継続して実施していく。	子育て支援課
		毎月19日前後の給食を食育の日献立とし、年間計画のテーマに沿った献立を提供した。	継続して実施していく。	学校教育課
		食の安全・安心に関する内容などを掲載した食育だよりを各家庭に配付した。また、食に関する情報を掲載した食育メッセージを市内小中学校の教職員に配付した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
		食生活改善推進員養成講座にて啓発・普及に努めた。	継続して実施していく。	健康推進課

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
朝食や野菜の摂取を始めとする望ましい食習慣を普及する。	各種栄養教室や栄養相談等で、朝食や野菜摂取の必要性についての知識を普及した。また広報で望ましい食生活についての啓蒙を行った。	引き続き、母子や成人、介護の栄養教室にて、朝食の重要性の啓蒙や野菜摂取量の増加促進を実施する。	健康推進課
適正体重を周知する。	各種健康教室や特定健診結果説明会、あまつり、健康福祉まつりで適正体重の周知を図った。広報で適正体重についての啓蒙を行った。	継続して実施していく。	健康推進課

(2) 食を通じて豊かなこころを育む

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
給食内容の充実を図る。	毎月献立検討会を開催し、内容の充実を図った。J A海部東と協同し、あま市産の野菜を給食で使用できるように連携を図った。全国の郷土料理を大量調理できようようにアレンジしたものを給食に取り入れ、給食だより等で紹介した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
給食を通して子どもたちの豊かなこころを育成する。	食に関する指導で食べ物の大切さについて話をするとともに、給食だよりや放送資料を活用して豊かな心の育成につなげた。学校給食センター見学を実施し、給食への理解・関心を深めた。	継続して実施していく。	学校給食センター課
食文化や郷土料理を継承する。	愛知県及び各都道府県の郷土料理を大量調理できるようにアレンジをして給食に取り入れ、給食だより等で紹介した。 観光協会主催による小学生の親子を対象に、あま市の特産野菜を使用した「あまつこ井レジンピュコンラースト」に協力した。	継続してコンラーストに協力し、食文化や郷土料理を継承していく。	健康推進課
子どもや親子を対象とした講座・料理教室等を開催する。	一部の学校の依頼により実施した。親子パン作り（親子ふれあい講座）で、親子での作り方を学ぶ講座を開催した。親子お菓子作り（親子ふれあい講座）で、親子でクッキーの作り方を学ぶ講座を開催した。栄養満点ふりかけと野菜たつぷりなお味噌汁を作りましよう（幼児期家庭教育講座）で子どもの栄養バランスを考えた料理の作り方を学ぶ講座を開催した。クリスマスを食べよう（幼児期家庭教育講座）で、子どもとのふれあいを大切にクリスマス料理の調理を行う講座を開催した。飾り巻きずしを作ろう（幼児期家庭教育講座）で、子どもとのふれあいを大切なお雛様ずしと桃の花の巻きずしを作る講座を開催した。	内容を精査しながら実施していく。	生涯学習課
	食生活改善推進員主催の親子料理教室の開催を支援した。	親子料理教室は、「親子がふれ合いながら一緒に料理ができる」と好評のため、引き続き支援していく。	健康推進課
全ての世代に向けて、食育に関わる情報を発信する。	関係機関と連携を図りながら、日々の給食や行事等で園児、保護者へ食育の推進を行った。	継続して実施していく。	子育て支援課

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
13	全ての世代に向けて、食育に関わる情報を発信する。	学校給食センター見学・食に関する指導を実施した。また、園だより・給食だよりなどで情報を提供した。	継続して実施していく。	子育て支援課 学校給食センター課
14	全ての世代に向けて、食育に関わる情報を発信する。	就学時検診の時に、生活習慣などについて話をした。	継続して実施していく。	学校給食センター課
15	子どもが保護者や地域とともに食育を学べる機会を設ける。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導を実施した。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高めてもらうようように働き掛けをした。	継続して実施していく。	学校教育課
		食生活改善推進員主催の親子料理教室の開催を支援した。	親子料理教室は、「親子がふれ合いながら一緒に料理ができる」と好評のため、引き続き支援していく。	学校給食センター課 健康推進課
		観光協会主催による小学生の親子を対象に、あま市の特産野菜を使用した「あまっこ井レシビコンテンツ」に協力した。	継続してコンテンツに協力し、食文化や郷土料理を継承していく。	健康推進課

(3) 食を通じて環境に優しい暮らしを築く

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
16	地産地消に関する情報を提供する。	あま市の農産物をより多く給食で使用できるようにJ・Aと連携を図り、給食で使用した特産品については、給食だよりや学校放送資料等に記載し、情報を提供した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
17	食の情報が得られる講座等を開催する。	観光協会主催による小学生の親子を対象に、あま市の特産野菜を使用した「あまっこ井レシビコンテンツ」に協力した。	継続してコンテンツに協力し、食文化や郷土料理を継承していく。	健康推進課
		各小中学校で開催される保護者対象の給食試食会にて栄養教諭・学校栄養職員が食についての講話をした。	継続して実施していく。	学校教育課 学校給食センター課
		各種栄養教室や食生活改善推進員養成講座で、正しい食の情報についての講話を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
18	特産野菜・伝統野菜をPRする。	市公式ウェブサイトに特産野菜を掲載した。	継続して実施していく。	産業振興課
		給食で使用した特産品を、給食だよりや学校放送資料等に記載し、配布した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
19	伝統野菜を継承する。	学校給食の献立に越津ねぎを活用した。	継続して実施していく。	学校給食センター課

取組内容	令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
20 給食において地元農産物を活用する。	愛知県内や海部地域の食品を優先した。了A海部東と協同し、あま市の農産物をより多く給食で使用できるように連携を図った。地元産の米・小松菜・ほうれん草・ねぎを使用した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
21 米飯給食を推進する。	学校給食の主食で米飯を週4回以上提供した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
23 食べ物に感謝する食育を推進する。	収穫体験、農業体験の充実に努めた。	継続して実施していく。	子育て支援課
	保育園、学校の残食量を周知した。	継続して実施していく。	子育て支援課 学校給食センター課